



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成23年08月08日 第523号「週刊五十嵐レポート」

## セミナー「信用調査と危ない会社の見分け方」

8月4日、私と元信用調査マンの平田勝彦氏と「信用調査と危ない会社の見分け方」セミナーを開催しました。

セミナー後の受講者の感想をみてみますと、「営業職としての視点、取引先の選び方、判断基準等、初めて知ることばかりで大変勉強になりました。改めて教材を読み、理解力を深めたいと思います」「危ない会社の見分け方について書籍だけでは知識として身につかない生の情報が聞け、大変勉強になりました」「与信に関するセミナーを聞くのは、初めてなので、非常に勉強になりました。さらにゆっくり時間をかけて、セミナーを受けたいです」

町コンは、リース会社の営業時代に与信判断を学び、また不良債権処理で債権回収の現場にいました。平田先生は、東京商工リサーチで長く信用調査の現場にいました。

平田先生の話の中で、倒産原因の多くは販売不振であるが、本当の原因は社長の放漫経営であると。営業マンとして月1回ぐらいの取引先訪問では、放漫経営を見破るのは簡単ではない。どこで見破るか。社長の勤務態度で推測するしかない。儲かっている会社の社長は朝が早い。朝7時30分には会社に来ている。しかし放漫経営の社長は朝が遅い。朝が遅い社長の会社は要注意。

倒産会社の44%は赤字決算であり、そのうち80%は2期連続で赤字。一方56%は黒字決算で倒産しているが、大半は粉飾決算を行っている。倒産した会社の平均売上高純利益率は0.2%、これが3期連続して続くと信用不安が起り、倒産の確率が高まる。

町コンの経験では、経理責任者が急に退職すると、その会社は倒産するケースが非常に高い。数字で実体をしている人から辞めていきます。

不良債権を未然に防ぐには、他社よりも早く情報を収集し、素早く決断し、他社に先駆けて債権を回収することです。勝ち逃げしかありません。

情報収集力×判断力×実行力=与信管理能力

ちょっと  
気になる出来事

8月4日付、日経新聞に「林原再建へ」という記事。

長瀬産業が700億円を支援し、そのまま債権者に弁済することが書かれています。競争入札で価格が上がったと書かれています。

負債総額1400億円で資産売却等を含めて1000億円になるとのこと。弁済率が70%超。

会社更生や民事再生で弁済率が70%超は異例中の異例。ほとんどが5%~10%。

本当ならば、法的手続きをとらなくても私的で再生ができたはず。

しかし、法的手続きをたらなくてはならない経緯は「粉飾決算」であったと思われる。それも長期的に行っていたことが債権者の怒りをうけたことであろう。

粉飾は麻薬。経営者がやってはいけないこと。  
自分を律する。



一口メモ  
成功の秘訣

人生は偉大なる演劇

人生は、偉大なる演劇ではないのか。

己自身は、何の役をふりあてられているのか。

主人公か、馬の足か、大将か、“その他大勢か”

それは、人が決めるのではない、己自身が勝手に決めるのであって、何もへりくだって端役にまわる必要はない。

実は、人生を主観するとき、常に己自身はその場、その時の主役である、必ずシテをつとめている。

これを客観するとき、己自身をヒーローとする大小説の雄編である。

「丸山敏雄一日一話」より

週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行

町コン経営塾「会社成功塾」 毎週日曜日、月曜日 午前10時~12時。

町コン・ランチェスタービジネスセミナー 毎月東京・大阪開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

